

STOP!! 海へのプラごみ新聞



岡山市・岡山中央小6年 越智 菜々佳

プラごみストーリー

- 海にはたくさんの生きものがいる
- 川にもたくさんの生きものがある
- でも人間たちが捨てたごみが海に流れこむと...
- そのごみが川を流れて...
- あちこちにたまって生きものも困る
- さらに川から海にも流される
- やがてごみは風が流れてきたり波が打ち寄せたりして海にたまっていく
- それをもっと生き物を困らせる
- ついにプラスチックの魚や貝も海にもまき水いく
- 魚たちがそれを食べる
- 魚たちは弱ったり死んだりしてしまう

環境庁：海ごみゼロワーク活動 旭川流域ごみ調査＆ごみ収集

2019年6月9日

NPPO法人グリーンパートナーおがやまが主催する「海や川の汚染原因となるプラスチック類ごみの回収作業」を通じて環境保全について学ぶイベントに参加しました。このイベントは環境庁が呼びかけている「海ごみゼロワーク活動」の一環です。

- 当日の朝は岡山中央区の旭川大橋付近の河川敷に集合し、説明を受けました。
- 次に配布された専用の回収袋を持ち各自ごみを回収します。
- 朝のうちに多くのゴミが回収され、次はそれぞれ分別する作業です。しかり分別し直したり、つめた袋の数かきえたり
- 河川のごみ量を減らすために、回収したごみを分別して、環境庁に報告するためのデータと報告書を作成しました。

海ごみゼロワーク活動の仲間たち

海ごみ調査の結果

今回、旭川河川敷で収集したごみの内訳

(計 114.8 kg)

PETボトル	10袋	75kg
ペットボトル	8袋	20.7kg
その他	4kg	
その他	9.1kg	
その他	6kg	

合計 114.8kg (2019.6.9)

STOP!! プラごみ新聞

発行日 2019年10月30日

発行所 岡山県立岡山中央小学校

著者 越智 菜々佳

ナナ記者(年次)

レポート記事 写真(年次)等 0%はりました

寸評

海ごみ調査の現場を詳しく取材しています。手書きのイラストで工夫し、難しい海ごみ問題が分かりやすくなっています。自分のできる対策を実践し、問題を解決したい強い気持ち伝わります。

のこえ

ボランティア団体「グリーンパートナーおがやま」理事長 藤原 さん

私達は何年前からボランティアの活動として、瀬戸内のゴミ汚染や現状調査を通して海を見守っています。今のままでは10年後、海は汚れてしまっています。私達がそれを何とかして止めなくてはなりません。何となく、

STOP!! プラごみ

定期的フリーマーケットとして家庭の不用品ゴミを減らそう!

町のパラティオなどに参加してゴミ回収作業を一緒にしよう!

地域のリサイクルゴミ分別のお手伝いしよう!

家族や友人と環境のことについて話し合う機会を持とう!

新聞・ネットなどで調べてプラごみについて知識を増やそう!

お出かけ時はマイバックやマイ水筒を持参する習慣を持とう!

SDGs

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

5月30日(土)から6月5日(木)まで6月8日(世界海洋デー)までの期間

活動のねらい

- ごみ拾い活動
- ごみ調査・分析
- 深い知識普及活動